

※ 考生請注意：本試題不可使用計算機。 請於答案卷(卡)作答，於本試題紙上作答者，不予計分。

1. 下記の日文を中(漢)文に翻訳してください。(40%)

刑法には「総論」と「各論」があります。

「総論」というのは、おおざっぱに言えば、すべての犯罪が成立するための要件である「構成要件」「違法性」「責任」の有無について体系的に検討するものです。それに対し、「各論」は刑法の条文、たとえば殺人罪や文書に偽造罪などのように、刑法典で定める犯罪について個々に書かれています。

多くの人は、「総論」でくじけます。

最近のテキストは親切になりましたが、私が大学生だった頃のテキストなんて、講義に合わせて読んでいてもさっぱりわからず(講義をサボる絶好の言い訳になりました)、試験前に全体の体系がわかって、ようやく書いてあることが理解できた、という記憶があります。

2. 請將下列中文單語翻譯成日語文，或以日語文解釋？

(30%，每一題3分)

- |          |            |
|----------|------------|
| ① 公司的董事會 | ⑥ 司法高考     |
| ② 律師     | ⑦ 未成年者     |
| ③ 法官     | ⑧ 行政院長     |
| ④ 檢察官    | ⑨ 總經理      |
| ⑤ 股份有限公司 | ⑩ 法律上的「惡意」 |

3. 將下列中文翻譯成日語文(30%)

民法為任意法

法律依其規定是否有強行性，可分為強行法與任意法，凡法律規定之內容，不許由當事人以自由意思變更者，為強行法，如刑法；反之，准許當事人以自由意思變更者，為任意法。民法除具有強行性質者，如能力、時效、親屬、繼承等事項外，大部分均為任意之規定，故整部民法雖由任意規定與強行規定集合而成，但偏重於任意法之色彩。